

九州3県合同米国向け焼酎プロモーション事業 仕様書

1 事業の目的

九州3県の代表的な特産品「本格焼酎」を世界有数のマーケットである米国（NY等）を対象にPRすることで、九州3県産「本格焼酎」の認知度向上・販路拡大を図る。

※九州3県は熊本県・宮崎県・鹿児島県

2 事業概要

米国（NY等）のバーやレストランにおける「本格焼酎」の消費拡大に向け、米国で活躍するトップバーテンダー等と連携することで、現地消費者が焼酎の魅力や文化について理解を深める機会を創出し、現地でのメニュー展開や継続的な商流につなげる。

3 事業内容

(1) 「3県合同・本格焼酎カクテルフェア」の企画・運営

① 米国（NY等）のバー等において、「3県合同・本格焼酎カクテルフェア」を実施する。

※店舗、実施期間及び店舗数は提案によるものとするが、最終的には九州3県と協議の上、決定することとする。

※使用銘柄は、現在米国に流通している熊本・宮崎・鹿児島の銘柄から選定するものとする。

② フェア期間中、鹿児島県から最低1蔵元を派遣し、フェア協力店舗において、消費者に直接、原料・製法・土地の文化を伝える「造り手との交流会の場」を設定すること。

また、現地不参加の蔵元においては、WEB等で実施店舗のバーテンダー等へ「銘柄の特徴・ストーリーを伝える場」を設けること。

③ 現地のバーテンダーやメディアを対象に、蔵元自らが講師を務める本格焼酎セミナーを開催し、BtoBのネットワーク構築を図ること。

④ フェア期間中、焼酎に造詣が深く、強い発信力を持つトップバーテンダー（※日本国内外問わない）を最低1名派遣し、フェア協力店舗でのゲストシフトを実施すること。

(2) SNSや広告による情報発信

① イベントロゴ、店舗用POP等、現地消費者が(1)のイベントを認識できる、参加店舗共通のメインビジュアルを作成すること。

② 現地メディアへのプレスリリース配信、インフルエンサー（バー・ライフスタイル系）による情報発信を行い、カクテルフェアへの集客とSNSでの話題化を最大化させること。

(3) 情報共有の徹底

(1)(2)の業務実施に当たっては、適宜事業展開の情報共有を図ること。

4 成果目標（KPI）

本事業の目的達成に向け、以下の指標を基本として目標値を設定し、効果検証を実施すること。

- ・「3県合同・本格焼酎カクテルフェア」参加者達成率（%）
- ・提供杯数達成率（%）
- ・SNS投稿件数達成率（%）
- ・再注文・追加発注店舗割合（%）

5 成果品等

業務完了報告書（成果報告書）：委託業務完了後直ちに提出すること。

6 その他

業務の内容や範囲については、九州３県と協議の上、進めていくこととする。なお、この仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、又はこの要領に定めのない事項については、必要に応じて、九州３県と受託者が協議の上、定めるものとする。当該業務の関係書類を整備して保存するものとし、その保存期間は、事業完了の翌年度から起算して５年間保存するものとする。